

保護者のみなさまへ

コレだけは
知っておきたい!
教育NEWS

イマ
どき

変わる! 高校教育

お子さんは、今、
どこにいますか?

～高校教科書の改訂と大学入試改革のスケジュール～

学年・年度	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
大1	高3★ 現行の教科書				
高3		高3★ 現行の教科書			
高2			高3★ 現行の教科書		
高1				高3★ 現行の教科書	
中3	現行の教科書	中3 新しい教科書	高1改訂	高2改訂	高3改訂
中2	現行の教科書	中2 新しい教科書	中学改訂		
中1	小6 新しい教科書	中学改訂			

高校3年間で
新しい教科書
で学ぶ現中3
生から、大学
入試は激変!

★現行の教科書に基づいて実施される共通テスト
★新しい教科書に基づいて実施される共通テスト

(エデュケーショナルネットワーク作成、無断転載を禁ず)

科目が変わり、教科書が変わる! 4年後が本当の大学入試改革

株式会社エデュケーショナル
ネットワーク
R&Dセンター
チーフアナリスト
上野伸二さん



各教科の学習指導要領 の変化のポイント

2022年度から高校教育が大きく変わります。これは「大学入学共通テスト」をはじめとする大学入試改革につながるもの。高校に合格したからといって、油断は禁物です。今の中3はもちろん、中2以下の学年に大きく影響する高校教育の変化について、エデュケーショナルネットワークの上野伸二さんにお話を伺いました。

2022年4月から高校の教科書が変わります。それは新学習指導要領の実施に伴い、高校の教科書が再編されるからです。今年から教科書が変わった中学校の場合は、3学年とも一気に新しくなりましたが、高校の場合、新学習指導要領の実施は学年ごとですので、現在の高校在籍生の教科書は変わりません。大きく変わるのは、現中3⇨新高1からです(上図参照)。したがって、大学入試も2025年から新教科書・新課程の内容になります。2022年4月入学の新高1が大学受験するときは、浪人すると厳しい状況になることが予想されます。つまり、本格的な大学入試改革は、現中3生から始まる、と言っても過言ではありません。

本格的な大学入試改革は 今の「中3」が受験するとき

著作権の関係で実際の教科書はお見せできませんが、高1の新教科書の見本を閲覧して私を感じた変化や、現時点で判明している2025年からの共通テストの変更点についてお伝えしましょう(下図参照)。

「国語：実用的な国語力を重視!」
「言語能力の確実な育成」が重要な改善点として挙げられており、国

来年4月から、高校の教科・科目はこう変わる!

【現行】				【改訂】			
教科	科目	標準単位数	必修科目	教科	科目	標準単位数	必修科目
国語	国語総合	4	●	国語	現代の国語	2	○
	国語表現	3			言語文化	2	○
	現代文A	2			論理国語	4	○
	現代文B	2			文学国語	4	○
	古典A	2			国語表現	4	○
地理歴史	古典B	2		地理歴史	古典研究	4	○
	世界史A	2			地理総合	2	○
	世界史B	2			地理探究	3	○
	日本史A	2			歴史総合	2	○
	日本史B	2			日本史探究	3	○
公民	地理A	2		公民	世界史探究	3	○
	地理B	2			公共	2	○
	現代社会	2	※		倫理	2	○
	倫理	2			政治・経済	2	○
	政治・経済	2			数学I	3	●
数学	数学I	3	●	数学	数学II	3	●
	数学II	4			数学III	4	○
	数学III	5			数学A	3	○
	数学A	2			数学B	2	○
	数学B	2			数学C	2	○
英語	数学活用	2		英語	英語コミュニケーションI	3	●
	コミュニケーション英語基礎	2	●		英語コミュニケーションII	4	○
	コミュニケーション英語I	3			英語コミュニケーションIII	4	○
	コミュニケーション英語II	4			論理・表現I	4	○
	コミュニケーション英語III	4			論理・表現II	2	○
英語表現I	2		論理・表現III	2	○		
英語表現II	2		理数	理数探究基礎	1		
英語会話	2		理数探究	2~5			

○: 必修科目 ●: 必修科目(2単位まで減可) ※: 「現代社会」または「倫理」・「政治・経済」

(エデュケーショナルネットワーク作成、無断転載を禁ず)

語の科目構成は全面刷新される。そのうち必修修となるのは、次の2科目(各2単位)。
・現代の国語……実用的な文章と論理的な文章を学び、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する
・言語文化……現代文のうち、文学的文章、古文・漢文を学び、上代から近現代につながる我が国の言語文化への理解を深める
これまで高1で学んできた「国語総合」が、「現代の国語」と「言語文化」の2つの教科書に分かれ、ページ数も「国語総合」より増加。高2以降で「論理国語」「文学国語」が設けられるが多くの学校は「論理国語」を履修させると思われる。「2025共通テスト」出題範囲は「現代の国語」「言語文化」から、10分延長となる可能性も。
「地理歴史」……「歴史総合」「地理総合」が必修修
従来、古代文明から順に学んでいた日本史・世

世界史は、現代社会との関連性が強い近現代の学習が手薄になりがちだった。また、文系の生徒でも日本史を履修しないケースがあり、グローバル化する社会の中で、日本の近現代史を必須の教養として学ぶ重要性が指摘されていた。

新設の「歴史総合」では、18世紀以降の日本と世界の動向を関連付けて学ぶ。通史は「日本史探究」「世界史探究」で学ぶ。「地理総合」も全員が必修となった。

【2025共通テスト】受験科目は「地理総合＋地理探究」「日本史探究＋歴史総合」「世界史探究＋歴史総合」と、「○○総合」が必ずセットとなる。

【公民】：自分の考えを英語で書けるようになり、生徒に社会参画を意識させる「公民」という科目名に。従来の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の一部の内容を引き継いでいる。

【2025共通テスト】「公共・倫理」「公共・政治・経済」の2科目に。両方を組み合わせての受験は不可。地歴公民では最大2科目選択するが、「地理総合、歴史総合、公共」を選択した場合、同一名称を含む科目を組み合わせることはできない。

英語：英語による発信力を重視

4技能5領域を総合的に評価する「英語コミュニケーション」（従来のReadingに近い。英文テーマはSDGs関連が多い）と、スピーチやプレゼンテーションなどのアウトプット重視の言語活動を目的とした「論理・表現」の2本柱に。

「論理・表現」は「Logic & Expression」と表記され、教科書では「Model Conversation」を導入し、文法や論理を学んでいく流れ。中学英語教科書と違って、文法的

な解説が圧倒的に多い。レベルの高い教科書はAmazonとなっている。

【2025共通テスト】小学校からの英語教科化により、高校卒業時までには学ばず単語数は現在の3000語程度から4000〜5000語程度に大幅増。CEFR/B1〜B2レベルの力が求められる。

【数学】：「数学C」が新設、負荷が大きく現行では「数学I・II・III、数学A・B、数学活用」の6科目だが、「数学活用」はほとんど選択されなかった。新課程では「数学I・II・III、数学A・B・C」。

「数学B」では、小中の算数・数学で「デー」

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学I	数学A	化学基礎	生物基礎	英語コミュニケーションI	論理・表現I	体育	保健	芸術I	家庭基礎	情報I	L	H	R	総合															
2年	文系	論理国語	古典探究	地理総合	日本史探究/世界史探究	公共	数学II	数学B	物理基礎	化学基礎	生物基礎	英語コミュニケーションII	論理・表現II	体育	保健	芸術II	L	H	R	総合													
3年	文系	論理国語	古典探究	日本史探究/世界史探究	政治・経済	数学III	数学C	物理/生物	化学	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	体育	世界文化史/日本文化史	選択A	選択B	L	H	R	総合														
理系	論理国語	古典探究	地理探究	数学III	数学C	物理/生物	化学	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	体育	選択A	選択B	L	H	R	総合																	

文系は倫理・数学理解・化学基礎II・生物基礎II・地学基礎II・音楽III・美術III・書道III・英語理解・異文化理解・情報II・スポーツII・音楽理論・絵画・実用書・フードデザインの中から2科目を選択
理系は数学理解・物理探究・化学探究・英語理解・異文化理解・スポーツII・音楽理論・絵画・実用書・フードデザイン・情報IIの中から1科目を選択

文系でも「数学」が非常に重要になる！注目！

● 2022年度からの新課程（普通科の標準的な例）。
● 文系と理系の数学の違いは、「数学III」をやるかやらないかだけ。文系でも高3まで数学を学ぶ高校が増えてくる。
● 「総合的な探究の時間」は、「理数探究」などを扱う高校が多いと予想される。
(エデュケーションネットワーク作成、無断転載を禁ず)

「数学活用」を強化した流れで、今までほとんど扱わなかった「統計的な推測」を学ぶ。また、「数学活用」が廃止され「数学C」が新設。「数学C」は、ベクトル（数学Bから移行）、平面上の曲線と複素数平面（数学IIIから移行）、数学的な表現の工夫（新規）の単元内容となっている。「数学III」は単位時間数が減るため、授業進度はタイトになり、生徒の負担増が予想される。

【2025共通テスト】国公立大を志望する場合、文系・理系とも①「数学I」「数学I・数学A」と、②「数学II、数学B、数学C」が必要。②では、Bの「数列」「統計的な推測」「Cのベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」のこれら4つから3つを選択すると予想される。文系でも上位校をねらうためには「数学C」まで学ぶ必要がある。

【理科】：教科・科目内容に変更なし
【2025共通テスト】理科は120分・1コマに。「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」で1科目扱い（いずれか2科目を選択解答）。選択パターンは現行と同じ。

【情報】：新科目「情報I」が必修に
【2025共通テスト】国公立大の対応は、来年1月に発表予定。試験科目に決まった場合、60分・100点満点になると予想され、共通テストは「6教科8科目」となる。

ポイント「英語」と「数学」
小学生から学習を積み上げて

ここまでご説明したように、大学入試が変わる→高校教育が変わる→高校教科書が変わる、という流れで、2022年4月に入学する高1から、高校の学びは大きく変化します。そこで今、小中学生の保護者の方に、ぜひ、知っておいていただきたいポイントをまとめておきましょう。

● 英語：4技能を積み上げていく
中学生の保護者の方は実感しているかもしれませんが、英語は小学校での教科化の影響でボリュームが増え、非常に難しくなっています。高校も同様です。
中学校の定期テストを分析したところ、中1の段階では学校によって難易度が割れていますが、中3になると軒並み難易度がアップ。小学生のうちから4技能をしっかりと定着させていく必要があります。

● 数学：文系でもおろそかにできない
2020年度入試で、私立文系の最難関のひとつである早大・政経学部が、一般選抜で「数学I・A」を必須にしたことが大きな話題になりました。「共通テスト」でも文系の数学の比重は大きくなっています。「文系に数学は不要」というこれまでの通説は通用しなくなりました。小学校算数のうちから「つまずき」を作らないで、おろそかにすることが、非常に大切です。

● 探究型の学びに慣れておく
大学入試では、私立・国公立を問わず学校推薦型選抜・総合型選抜の割合が増加（2019年で2人に1人）。行きたい大学のアドミッションポリシーを調べ、どんなことを学ぶのか、どんな学生像が求められているのかを知っておきましょう。小論文などではSDGs関連の探究型のテーマが増えていますから、普段から知識や情報をインプットしておくことも大切です。

学校推薦型・総合型選抜の大学入試に対応するためには、定期テストを大事にしながら、高校3年間できちんと評定を獲得することが重要です。そのためには、高1の1学期に好スタートを切る。学習塾と二人三脚で、お子さんの将来を見通した学習を心がけていただきたいと思います。